

学校だより



富士南小学校
学校評価号
令和6年2月9日

富士南小学校教育アンケート集計結果をお知らせします

お忙しい中、教育アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。今年度は新型コロナウイルスの5類移行を受け、昨年度以前に比べて、より一層できることが増え、子供たちの活動の幅が広がった1年間でした。こうした中、先日回答していただいたアンケートの結果がまとまりましたので紹介いたします。家庭と学校・地域が協力して、子供たちのより良い成長に向けて努力していけますよう、今後とも、御支援と御協力をよろしくお願いします。

まず、質問項目3について、「学校で学習している内容が分かっている」の質問に、A「とてもそう思う」 B「そう思う」と回答した子供は合わせて約96%でした。昨年度の95%同様に高い数値であり、今年度も引き続き、子供たちが学びを深めていることがうかがえます。昨年度から導入された5・6年生の教科担任制により、教科指導を深く行うことができるようになったことや、グループ学習や体験活動などが制限なく行えるようになったことで、本校の研修テーマ

「学び合い 考え 表現する子」に迫ることができたと感じています。また、家庭での保護者の皆様による学習の丁寧な見届けにより、子供たちの学習に向かう姿勢が向上したと思います。今後も、「楽しい」「分かる」授業を心掛け、南小の子供たちの学力の向上に努めていきます。

生活面では、質問項目5について、95.7%の子供たちが「友達や先生、地域の方々に自分から気持ちのよいあいさつができています」と答えました。昨年度に比べ、肯定的な回答は7.3%の上昇で、昨年度から引き続いての上昇でした。その中でもA「とてもそう思う」の割合は、昨年が53.8%だったのに対し、今年度は68%と2年続けて10%以上増えています。今年度、本校の重点目標は「あいさつがいっぱい えがおもいっぱい」です。自分から気持ちのよいあいさつのできる子供が増えれば、友達とも良好な関係を作ることができます。校長が話をしてきたように、ただ大きな声を出してあいさつをすることがよいのではなく、「小さな声でも相手の顔を見て微笑んだり、会釈をしたりと、相手に気持ちを伝えようとする意識が大切だ」ということが子供たちの間にも広がりました。そして、今では、多くの子供が前向きな気持ちを伝えようと真摯な姿勢であいさつを行っている姿が見られます。

質問項目9については、

<児童・保護者・教職員 共通項目>						
A：とてもそう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない						
番号	質問事項		A	B	C	D
1	お父さんは、友達の良いところを見つけている。	児童	58.7%	35.7%	4.1%	1.5%
		教職員	36.7%	60.0%	3.3%	0.0%
		保護者	56.6%	43.4%	0.0%	0.0%
2	お父さんは、困っている友達を助けている。	児童	53.1%	39.5%	6.1%	1.3%
		教職員	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		保護者	37.3%	57.1%	5.5%	0.2%
3	お父さんは、学校で勉強している内容が分かっている。	児童	62.1%	33.8%	4.1%	0.0%
		教職員	3.3%	93.3%	3.3%	0.0%
		保護者	29.1%	55.8%	13.5%	1.6%
4	お父さんは、家庭でも読書をしている。（読書が好き）	児童	56.7%	28.1%	10.2%	5.0%
		教職員				
		保護者	30.2%	27.1%	42.7%	0.0%
5	お父さんは、友達や先生、地域の方々に自分から気持ちのよいあいさつができています。	児童	68.0%	27.7%	4.3%	0.0%
		教職員	15.1%	84.6%	0.0%	0.0%
		保護者	34.4%	51.7%	11.9%	1.9%
6	お父さんは、行事や係、委員会の仕事など、自分から進んで取り組んでいることがある。	児童	81.9%	16.8%	1.3%	0.0%
		教職員	13.3%	76.7%	10.0%	0.0%
		保護者	46.2%	45.6%	7.4%	0.8%
7	お父さんから、いじわるやいじめの話を受けない。（友達に嫌がることをしない）	児童	67.4%	23.4%	8.3%	0.9%
		教職員	36.7%	60.0%	3.3%	0.0%
		保護者	43.9%	33.0%	22.3%	0.8%
8	お父さんは、緊急時に自分の命を守るために適切な判断と行動を行っている。	児童	76.0%	21.7%	2.3%	0.0%
		教職員	50.0%	43.3%	6.7%	0.0%
		保護者	20.4%	58.3%	19.0%	2.2%
9	学校は、ICT機器（タブレット）を授業で活用している。	児童	66.9%	28.9%	4.0%	0.3%
		教職員	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
		保護者	46.1%	47.8%	6.2%	0.0%
10	お父さんは、学校で勉強や運動など楽しく取り組んでいる。（学校は楽しい）	児童	67.9%	26.4%	4.5%	1.3%
		教職員				
		保護者	54.2%	40.3%	4.9%	0.6%
11	お父さんは、「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。	児童	78.5%	19.3%	1.4%	0.8%
		教職員				
		保護者	44.0%	45.8%	9.1%	1.1%
12	お父さんは、友達のことを大切に「さん」「くん」を付けて呼んでいる。	児童	59.6%	33.1%	6.1%	1.1%
		教職員				
		保護者	52.7%	38.1%	8.2%	1.1%
13	お父さんは、自分には良いところがあると感じている。（自分には良いところがあると思う）	児童	42.4%	38.1%	12.1%	7.4%
		教職員				
		保護者	56.6%	43.4%	0.0%	0.0%
14	だまって、時間いっぱいそうじをする。	児童	49.7%	38.0%	9.4%	2.8%
		教職員	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%
		保護者				
15	体育の時間にめあてに向かって運動したり休み時間に進んで外で遊んだりしている。	児童	64.6%	24.2%	9.2%	2.0%
		教職員	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%
		保護者				
16	算数の時間に2人の先生がいて、授業で勉強していることが分かりやすい。（3年生のみ回答）	児童	83.2%	13.4%	1.7%	1.7%
		教職員				
		保護者				

※回答には、無回答も含まれているので数値の合計が100%にならない場合があります。

95.8%の子供たちが「ICT 機器を授業で活用している」と答えました。昨年度は93.3%の子供たちが「活用している」と回答しました。昨年度から1・2年生にもタブレット環境が整い、すべての児童にタブレットが行き渡りました。授業の中で様々なICT機器を活用する場面が日常的となり、授業の形は大きく変わってきています。今後も、より効果的なICT機器の活用方法について研修を深め、子供にとってより良い授業を実現させていきます。

質問項目10について、94.3%以上の子どもたちが「学校は楽しい」と感じていました。この項目においても、昨年度から引き続き、前年度の結果を上回って高い数値となっています。子供たちが、学校に来ることが「楽しい」と感じる事が一番うれしいことです。これまで制限されていた子供たち同士の関わり合いの場面が増え、学校生活に楽しみを見つげられるようになってきたように感じられます。今後も子供たちが「楽しい」と感じられる学校づくりに引き続き励んでいきます。

その他、学校運営に関しては、質問項目の全てにおいて、今年も90%以上の高い評価をいただきました。その中でも、質問項目21の「学校は、子どもの安全を確保する努力をしている」では、肯定的な評価が97.6%と極めて高い結果となりました。本校では、「仲間づくり」「居場所づくり」「自己決定」を学校教育の基本に据え、教育活動に取り組んできました。教室が子供たちにとって、居心地のいい場所になるよう、担任は寄り添うことを心掛けています。また、担任以外の多くの教員も子供たちと関われるよう、教科担任や学年合同の授業、ききょう活動等の複学年での活動など、子供たちが安心して、楽しく学校生活を送れるような支援が、結果に表れたと考えられます。また、怪我や体調不良等の対応も、養護教諭が二人体制で行い、精神面・身体面共に、「子供の安全確保」を最優先に取り組んできました。こうした結果は、保護者の皆様からの御助言や御協力による部分がとても大きいです。質問項目16についても、95.4%と昨年に引き続き、高い数値でした。これからも子供たちにとって、安心安全な学校づくりを、御家庭と協力しながら、作り続けていきます。

<保護者独自質問項目>						
A：とてもそう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない						
	番号	質問事項	A	B	C	D
学校運営	16	安心して子供を任せられる学校である。	45.6%	49.8%	3.9%	0.6%
	17	学校便りや学年便り、保健便り、給食便りなどで、学校の様子がよく分かる。	31.8%	60.5%	7.2%	0.5%
	18	学校職員は、お子さんのことについて話しやすい雰囲気がある。	48.4%	44.5%	6.4%	0.6%
	19	学校は、確かな学力を付けるために、工夫して授業に取り組んでいる。	33.2%	60.8%	5.7%	0.3%
	20	学校のきまりは、適切である。	35.5%	59.1%	5.3%	0.0%
	21	学校は、子供の安全を確保する努力をしている。	48.1%	49.5%	2.4%	0.0%
	22	コミュニティ・スクール（地域とともにある学校）が、学校生活（授業）に生かされている。	28.3%	64.5%	6.8%	0.5%
家での子どもの様子	23	お子さんは、朝、自分で起きてくる。	46.9%		53.1%	
	24	お子さんは、朝食を毎日きちんと食べている。	95.4%		4.6%	
	25	お子さんは、お手伝いが決まっていて、やり続けている。	39.5%		60.5%	
	26	お子さんは、家庭学習をする習慣が身に付いている。	75.0%		25.0%	
	27	お子さんの持ち物には、きちんと名前が書いてある。	83.6%		16.4%	
子供への関わり方	28	我が家は、大人も子供もあいさつをする。（おはよう、いただきます、いってきます、ただいま、おやすみ…など）	95.8%		4.2%	
	29	お子さんが、宿題や持ち物を忘れないように見届けている。	80.7%		19.3%	
	30	お子さんの良いところを見付け、ほめている。	95.0%		5.0%	
	31	お子さんと、ゲームやタブレットを行う時間などのルールを決めている。	75.0%		25.0%	
	32	学校や教職員、御近所の悪口をお子さんの前で言わないようにしている。	93.2%		6.8%	
	33	我が家は、地域の活動や行事によく協力したり参加したりしている。	63.5%		36.5%	

※回答には、無回答も含まれているので数値の合計が100%にならない場合があります。

今年度は、新型コロナウイルスによる様々な制限もなくなり、参観日や懇談会、学校行事等も中止となることなく開催することができました。これまで培ってきた伝統と、時代に即して改善が必要な活動を十分精査しながら、子供たちがよりよい学校生活を送っていけるよう教職員一同励んでいきたいと思ひます。保護者の皆様には、今後とも多くの方でご協力をいただくことがあるかと思ひますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

令和6年度の富士南小学校の教育活動について

- 令和6年度は、これまで培ってきた南小の子供たちの良いところを長期的な視点で育てていけるよう、南中学校や富士第二小学校と連携していく小中一貫教育をすすめ、子供たちの笑顔が一杯になるように支えていきます。
- これまでに引き続き、地域とともにある学校の実現のため、学校運営協議会やPTAと連携し、CS（コミュニティ・スクール）の一層の推進を目指していきます。

